

## 妊娠とおくすり

～知ってほしい基礎知識とQ&A～

浜松医科大学医学部附属病院薬剤部 母子産科病棟担当

## もくじ

- ・ Q&A 知ってほしい基礎知識
- ・ Q&A ～この市販薬、使えるの？～
- ・ 妊娠に関連してよく使うお薬
- ・ 妊娠中に役立つ情報（サプリメントとワクチン）
- ・ 妊娠と薬外来のお知らせ

## 妊娠とおくすり～基礎知識のまとめ～

お薬は赤ちゃんとは無関係ではない、  
でも影響する薬ばかりではない。  
世の中には奇形の原因となるお薬や、赤ちゃんに影響するお薬が  
ありますが、すべてのお薬が影響するわけではありません。

持病のコントロールも大切なこと。  
服用中のお薬が赤ちゃんに影響することが心配かもしれませんが。  
しかし、影響するかどうかはお薬によって異なります。  
自己判断で中断せず、必ず、主治医に相談してください。

3

## 本日のおなはし

- ・ Q&A ～この市販薬、使えるの？～

※基本的には、市販薬を使用する前に、  
できる限り病院を受診していただくことを推奨します。

- Q & A ① 風邪薬
- Q & A ② 痛み止め（飲み薬と外用剤）
- Q & A ③ アレルギーの薬
- Q & A ④ 目薬・塗り薬
- Q & A ⑤ うがい薬
- Q & A ⑥ 漢方薬

※この中に出てくる市販薬は、  
参考として一例をお示ししているものであり、  
使用を推奨しているものではありません。

## Q & A ① 風邪薬は使えるの？

年齢	成人 (15才以上)	15才未満	年齢	15才以上	11～14才	5～10才	5才未満
1日量	3錠	0錠	1日量	2錠	0錠	1錠	0錠
服用回数	1日3回	服用しないこと	服用回数	1日3回	1日3回	服用しないこと	服用しないこと

この2つの総合感冒薬は  
服用できる年齢に違いがあります。  
それぞれお薬の成分も違ったものを含んでいます。

どんな成分で違いがあるのでしょうか？

5

## Q & A ① 風邪薬は使えるの？

年齢	成人 (15才以上)	15才未満	年齢	15才以上	11～14才	5～10才	5才未満
1日量	3錠	0錠	1日量	2錠	0錠	1錠	0錠
服用回数	1日3回	服用しないこと	服用回数	1日3回	1日3回	服用しないこと	服用しないこと

### イブプロフェン

ジヒドロコデインリン酸塩  
di-メチルエフェドリン塩酸塩  
クロルフェニラミンマレイン酸塩  
L-カルボキシステイン  
アンプロキソール塩酸塩  
リボフラビン（ビタミンB2）

熱

咳

鼻水

痰

### アセトアミノフェン

ジヒドロコデインリン酸塩  
di-メチルエフェドリン塩酸塩  
プロムヘキシリン酸塩  
マレイン酸カルピノキサミン  
ビスイプアミン（ビタミンB1誘導体）  
リボフラビン（ビタミンB2）

服用できる年齢の違いが、お薬の成分を見分けるのに役立ちます。

6

Q & A ① 風邪薬は使えるの？



年齢	15才以上	11~14才	5~10才	5才未満
1日量	3錠	2錠	1錠	服用しないこと
服用回数	1日3回			

- 熱**
  - アセトアミノフェン
  - ジヒドロコデインリン酸塩
  - d-メチルエフェドリン塩酸塩
  - ブロムヘキシン塩酸塩
  - マレイン酸カルピノキサミン
  - ビスイブチアミン (ビタミンB1誘導体)
  - リボフラビン (ビタミンB2)
- 咳**
- 鼻水**
- 痰**

アセトアミノフェンは妊娠中に病院で処方されることがあります。

Q & A ① 風邪薬は使えるの？

飲んではいけない理由

解熱鎮痛剤の多くは、お腹の赤ちゃんの腎臓や心臓に影響することがあります。特に妊娠後期の服用は避けましょう。

どうやって選べばいい？

小児も使える風邪薬であれば、解熱鎮痛剤の成分がアセトアミノフェンであることが多いです。

(アセトアミノフェンの方が他の解熱鎮痛剤の成分に比べて、赤ちゃんの腎臓への影響が少ないことがわかっています。)ただし、市販の風邪薬は多くの成分を含んでいるため、可能であれば受診し、症状に対してピンポイントに合わせたお薬を処方してもらいましょう。

Q & A ② 痛み止めは？ (飲み薬と外用剤)



妊娠中によく使う薬

- コカール® (アセトアミノフェン)
- カロナール® (アセトアミノフェン)
- MS冷温シップ® (サリチル酸メチル)



妊娠中は注意が必要な薬

- ロキソニン® (ロキソプロフェン)
- イブ® (イブプロフェン)



Q & A ③ アレルギーの薬は飲んでいいの？



使えるお薬は比較的多い

- アレグラ® (フェキソフェナジン)
- クラリチン® (ロラタジン)
- ジルテック® ゼイザル® (セチリジン)
- 小青竜湯



点眼薬や点鼻薬

体への吸収が少ないため、基本的には使用可能です。妊娠中で、症状が目だけ・鼻だけの場合には、内服薬よりも、点眼・点鼻といった外用薬の使用をお勧めします。



※こちら以外にも、アレルギーのお薬にはたくさんの種類があります。その他のアレルギー薬の使用や長期に使用する場合は、一度病院を受診することを推奨します。

Q & A ④ 目薬・塗り薬は使っているの？

基本的には大丈夫

体に中に吸収されるお薬の量は少ないとされ、問題はないと考えられます。



長期または大量の使用には注意

受診して相談しましょう。



※痛み止めの成分の外用剤に関しては注意が必要なものがあります。医師や薬剤師に相談することをお勧めします。

Q & A ⑤ うがい薬ってダメなの？

※うがいであれば、水やお茶でも一定の効果があるとされています。

外用薬ですが注意が必要な薬も

成分にヨード (ヨウ素) を含んでいる薬は、お腹の赤ちゃんに届き、赤ちゃんの甲状腺に影響することもあります。



特にスプレータイプには注意

うがいをして吐き出すタイプのうがい薬よりも、スプレータイプはそのまま体内に吸収されるため、吸収量は多くなります。



## Q & A ⑥ 漢方薬は安全だよな？

### 数多くの漢方薬

漢方には長い歴史があり、妊娠中に使用されてきたお薬もあります。

### 漢方だからどれも安全・・・ではない

妊娠中に使えない漢方や、使うことがあまり勧められない漢方があります。

種類が多いので具体的な説明は省略していますが、病院で処方された薬剤を使用することをお勧めします。

13

## 本日のおなはし

- ・ Q&A 知ってほしい基礎知識
- ・ Q&A ～この市販薬、使えるの？～
- ・ 妊娠に関連してよく使うお薬
- ・ 妊娠中に役立つ情報（サプリメントとワクチン）
- ・ 妊娠と薬外来のお知らせ

## 妊娠中に使うお薬①子宮収縮抑制薬

### 張り止め（子宮収縮抑制薬）

#### ウテメリン®（リトドリン）

子宮の収縮を抑えることで、早産を防止するお薬です。

副作用：動悸、手の震えなど

→漢方薬の当帰芍薬散を飲むときがあります。

入院して点滴で使用することもあります。

\*市販薬では同じ成分の商品はありません。



15

## 妊娠中に使うお薬②便秘薬

### 妊娠中によく使う薬

マグミット®（酸化マグネシウム）  
ラキソベロン®（ピコスルファート）  
整腸剤（ビオフェルミン®など）



\*参考市販薬成分が色々あります



### 妊娠中は注意が必要な薬

アローゼン®（センナ）  
センノシド® プルゼニド®（センノサイド）

副作用：下痢

大量投与で子宮収縮を引き起こすことに注意



16

## 妊娠中に使うお薬②貧血のお薬

### 鉄剤

フェロミア®（クエン酸第一鉄）

インクレミンシロップ®

フェロ・グラデュメット® フェルム®

副作用：消化器症状

（気持ち悪さ、便秘・硬便・黒色便）

もし、貧血のような自覚症状があるようでしたら、病院で相談してください。

\*参考市販薬処方薬に比べて量が少なくなっています。処方された場合は、医療用を使用してください。



17

## 本日のおなはし

- ・ Q&A 知ってほしい基礎知識
- ・ Q&A ～この市販薬、使えるの？～
- ・ 妊娠に関連してよく使うお薬
- ・ 妊娠中に役立つ情報（サプリメントとワクチン）
- ・ 妊娠と薬外来のお知らせ

## 妊娠に役立つ情報～ワクチン+α～

### インフルエンザの予防接種は可能

妊娠中は、インフルエンザが重症化しやすいといわれています。  
妊娠中期以降の接種が推奨されます。

\* インフルエンザの薬：タミフル® リレンザ® イナビル®  
胎児への悪影響（催奇形性も含む）は報告されていません。

### 妊娠中に接種ができないワクチン

風疹・麻疹・水痘・ポリオのワクチンは、妊娠中の接種はできません。

\* 風疹の抗体が低い方は、産後に接種を勧められることがあります。  
妊娠中に感染すると、胎児に先天性風疹症候群を起こすことが  
あります。

19

## 妊娠に役立つ情報～サプリメント～

原則は、バランスの良い食事ですが・・・

足りない分はサプリで補うことも大切。

\* 葉酸は食事に加えて1日0.4mg (400μg) の摂取が  
推奨されます。



注意が必要なサプリも・・・

ビタミンAは、多量摂取で催奇形性のおそれがあります。

マルチビタミンで、葉酸の必要量を摂取しようとする

ビタミンAの摂取が過剰となる場合があります。



20

## 本日のおなはし

- ・ Q&A 知ってほしい基礎知識
- ・ Q&A ～この市販薬、使えるの？～
- ・ 妊娠に関連してよく使うお薬
- ・ 妊娠中に役立つ情報（サプリメントとワクチン）
- ・ 妊娠と薬外来のお知らせ

## 妊娠と薬外来のお知らせ

□厚生労働省が行っている国の事業です

□全都道府県の拠点病院で、外来相談ができます(自由診療)

□主治医相談、電話相談も可能です(※)

※使っている薬の種類や数によっては、**外来相談**になります。

※依頼から相談までは**時間(週単位)**をいただくことがあります。

お薬の日本国内・海外の最新報告について、  
薬剤師と医師から説明します。

詳しくは、  
妊娠と薬情報センター  
国立成育医療研究センター ホームページへ  
(<https://www.ncchd.go.jp/kusuri/>)

22

## 最後に

もしもお薬のことでお困りの際は、

お薬が出された病院の医師・薬剤師や、薬局の薬剤師に  
まずは相談してみましょう。

出産で入院された際は、お薬の疑問・質問について  
担当薬剤師もサポートしていきます。

薬剤の図像是、各メーカーホームページより引用

母体学報 浜松医科大学医学部附属病院

23